

キャラクター名  
黒鋼 煉鑑 (クロガネ レント)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ サラマンダー	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプション		年齢	18	性別	男
覚醒	命令	衝動	恐怖	初期侵食率	43 %
出自	有名人	経験	敵性組織	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	38
肉体	4	1	0	3		8	行動値	9
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	9
精神	2	0	0			2	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アームブレード ↑強化素材	白兵	8r+5	3	9		EA P136 イニシでオート装備、G値-4計算
			+1			

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部	
コネ: 手配師	
↑ストーン	
聖者の遺骨	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産の器: 聖者の遺骨(HR P91)	P	N		
REC: 強羅 瑠璃(PU)	P 尊敬	N 隔意		
埋瑠璃 傀(うすめの・くぐつ)(GR)	P 誠意	N 食傷		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10    残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ: ブラックドッグ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-[LV](下限7)								
スパークウェッジ	5	2	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果: 命中時対象は自分以外のキャラクターへ攻撃を行った際に[LV*3]のHPダメージ								
蒼き悪魔	5	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 攻撃を行った対象に[LV*3]のHPダメージ、1回/ラウンド								
氷雪の守護	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: HPダメージ-[LV+1]D10、1回/ラウンド								
ハードワイヤード	1	+4	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 専用アイテム1[LV]個取得								
ショート	★	-	メジャー	視界	参照	自動	-	
効果: 過電流で電子機器を壊す								
氷の理	★	-	メジャー	至近	参照	自動	-	
効果: 手で触れた物体を冷やす								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

多くの人からの祝福を受けて生まれ、親の呪いを受けながら生き延び、望まぬ力を強要され、差し伸べられた手を取って、今を生きている少年。

【経歴】  
有名俳優の両親の間に第一子として生まれた。多忙な両親であったため、祖父母の元に預けられることも多かったが、それでも両親からは愛されていた、と感じている。  
オーヴァードとなったのは彼が7歳となる前日。多忙な両親が揃って休みを取っての宿泊旅行の予定だった。誕生日当日には旅行先で親子水入らずで楽しんでいる予定だったが、向かう道中で事故に遭った。両親はほぼ即死、彼本人も死んでもおかしくない大怪我を負った。「お前だけでも生きろ」。赤々と燃える車内で父が最後に放った言葉に対し、もう動けなくなった脚で、この小さな手で、何をどうして生きろと言うのだ、と思った。しかしその魂の込められた言葉が、目から耳から離れることなく今も生き続けている。  
なおこの事故は世間を騒がせたが、結論から言えば意図的に起こされたものであった。遺産の実験を行うための被検体を探すべく起こされたのではないかと推測されるが、真実は不明。  
彼は事故現場から回収されて体のいい被検体として遺産を継承する。その際に損傷の激しかった右脚の義足への置換術も行われた。なお彼がブラックドッグシンドロームの所持者であったのかどうかは不明である。  
実験の日々を5年程過ごしたある日、UGNの遺産探索局の特殊部隊が襲撃。研究所側は為す術なく制圧され、彼らに保護される形でUGNチルドレンとなる。人工的に創られた遺産と人為的に契約者とされた彼の扱いは遺産管理局側としても手に余るところであり、無理に引き剥がすことも困難であったことから遺産を取り上げることはできず、コントロールさせる形で彼の手に残された。  
彼と彼の遺産の管理は、UGN日本支部にいる遺産管理局所属の研究員・埋瑠璃が担当している。研究者らしい変わり者ではあるが、現在は彼の保護者でもある。なお埋瑠璃はそれを生業とするRBであるが、あまり知られてはいない。

【日常】  
義務教育期間を研究所及び施設で過ごした彼にとって、高校生活の再開は複雑な心境である。一般人のフリをするというのにもあまり慣れていないが、他のチルドレンに比べて訓練期間が短く能力が劣り気味なこともあり、どちらに対しても引け目がある。更にそれを増長しているのは車椅子生活を余儀なくされている